

新疆歌詞

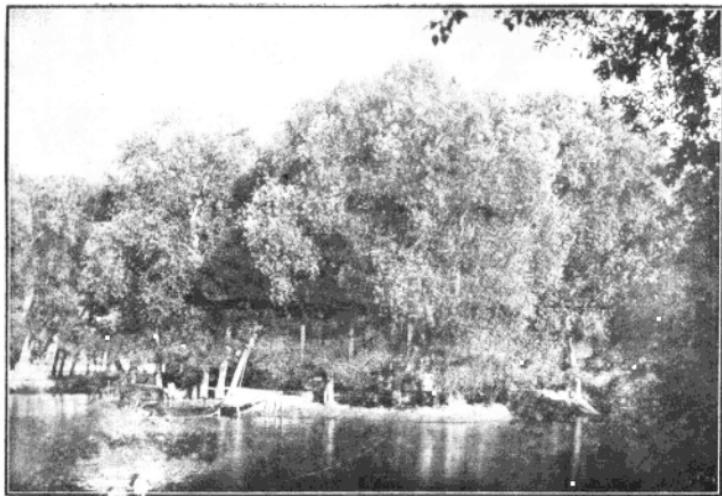
孫道

新疆概觀

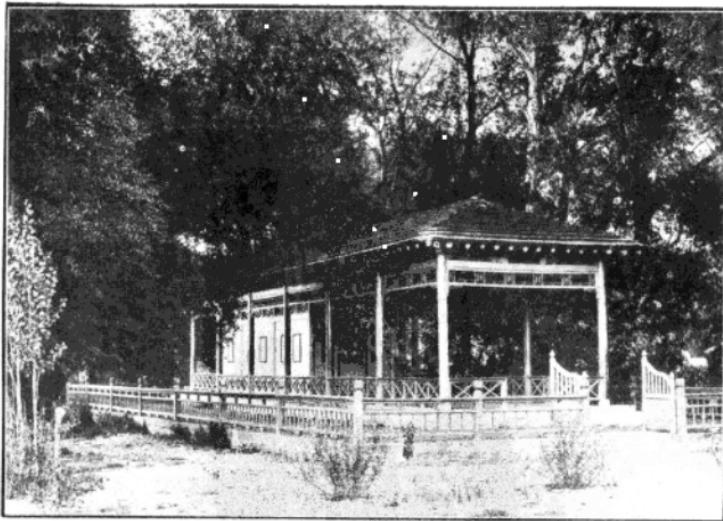
例　　言

1. 本書編著之動機。係時承多數關心新疆者之見詢而作。因使一般人士對於其地過去現在之一切情形。得有一系統之參考。故不憚瑣屑。事無巨細。概所述及。
2. 本書立論。務求中庸。然志在喚起國人之注意。雖歷史陳跡。似屬無關。但可闡明以往之事實。以為今後之借鑑。此中得失利害。頗堪令人研討。願讀者毋稍忽略。
3. 本書係二十年冬脫稿。因循時日。以迄於今。故內中敍述。大多以二十年事為止。
4. 本書所述。除著者身歷其境耳濡目擊者外。深以見聞有限。恐有未盡。參考之書。因之不厭其多。報紙雜誌。私家記乘。苟立論宏遠。記述翔實。概多採及。以便讀者手此一編。即能盡覽無遺。而其主要之參考書。計有王桐齡之東洋史。蕭皋謨之西疆雜述詩。謝彬之新疆遊記。此外又承新疆省前主席金樹仁所贈之楊增新行狀一卷。於民國後之事蹟。記述頗詳。未敢掠美。書此一併誌謝。
5. 本書著者。才短識淺。草草印成。謬誤之處。實所不免。願海內明達有以指示。日後定為改正。最所欣幸。

吳紹麟識　二十二年五月。

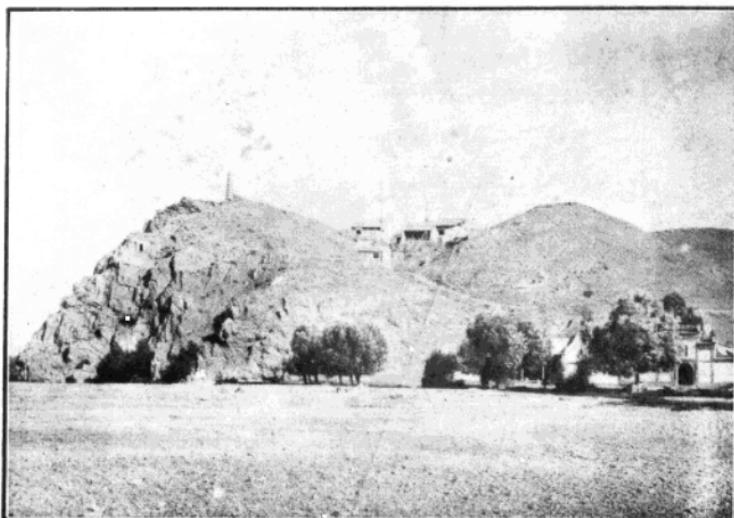


迪化鑑湖



迪化公園

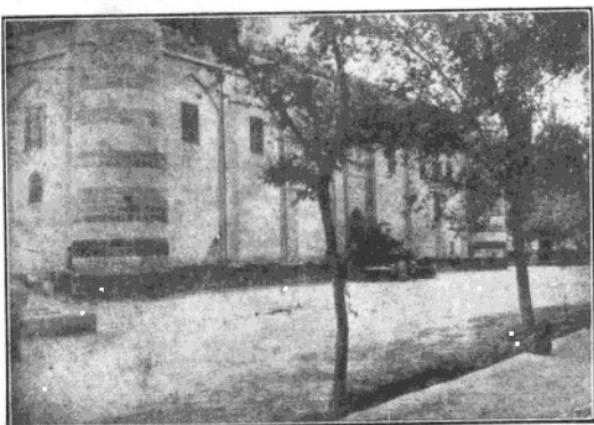
西 疆 風 光



迪化紅山嘴



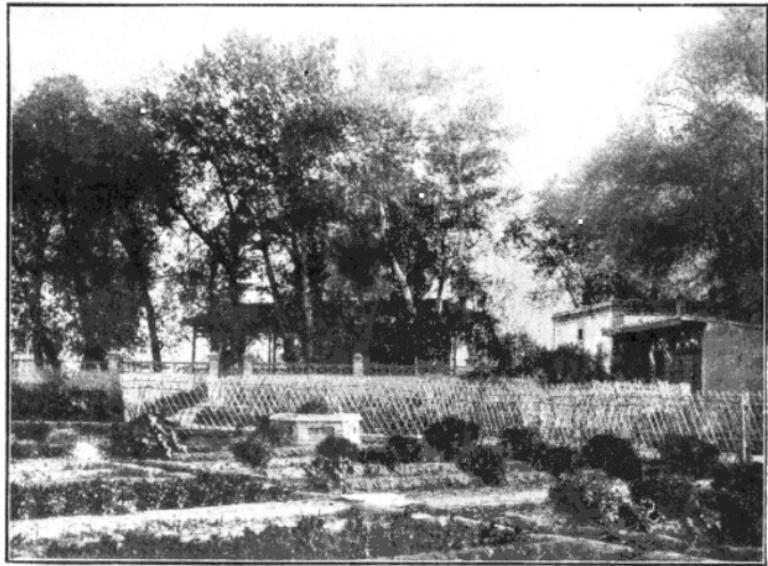
迪化西大橋



喀什噶爾香娘娘廟



迪化公園



迪化公園

新疆概觀

例　　言

1. 本書編著之動機。係時承多數關心新疆者之見詢而作。因使一般人士對於其地過去現在之一切情形。得有一系統之參考。故不憚瑣屑。事無巨細。概所述及。
2. 本書立論。務求中庸。然志在喚起國人之注意。雖歷史陳跡。似屬無關。但可闡明以往之事實。以為今後之借鑑。此中得失利害。頗堪令人研討。願讀者毋稍忽略。
3. 本書係二十年冬脫稿。因循時日。以迄於今。故內中敍述。大多以二十年事為止。
4. 本書所述。除著者身歷其境耳濡目擊者外。深以見聞有限。恐有未盡。參考之書。因之不厭其多。報紙雜誌。私家記乘。苟立論宏遠。記述翔實。概多採及。以便讀者手此一編。即能盡覽無遺。而其主要之參考書。計有王桐齡之東洋史。蕭舉謨之西疆雜述詩。謝彬之新疆遊記。此外又承新疆省前主席金樹仁所贈之楊增新行狀一卷。於民國後之事蹟。記述頗詳。未敢掠美。書此一併誌謝。
5. 本書著者。才短識淺。草草印成。謬誤之處。實所不免。願海內明達有以指示。日後定為改正。最所欣幸。

吳紹樸識　二十二年五月。

於唐。著於清。雖一治一亂。得失靡常。而久為國家盛衰之所關。故有清中葉。不惜舉債以赴之。初非欲耀兵以為榮也。亦非欲拓土以為豪也。蓋不如是不足以保山陝。衛京師。今雖移都金陵。其足以為中國安危則一。故當今明達之士。莫不認清今後中國之國防。不在東南而在西北。即以其地理而論。有雄壯秀麗之山嶺。有水甘土沃之曠野。藏金、銀、煤、玉、石油。饒米、麥、黍、稷、森林、棉花。多牲畜、皮、毛、奇獸。人物强悍。民風古樸。雖氣候稍寒。沙漿稍多。未可盡以為病也。獨惜數十年來。中原多故。不遑遠慮。新省僻處塞外。孤懸西北。不為一般人士所明瞭其實況。致多疑為荒涼無足述。艱苦不堪言。或困於物力。阻於環境。雖欲有志於邊地。而無由得以進行。故談新疆者。非色然以沮。即慨然以嘆。是則新疆前途之黑暗。終不能入於光明境地者矣。

曩者、竊嘗驅車西北。長征塞外。頗感爾夏、甘肅貧瘠。苦不勝言。待甫履新邊。忽民樂安居。道不拾遺。地利豐足。百物咸備。猶如身入寶山。目不暇給。所謂既抵天山。歡然如還故鄉者。信不誣也。東歸以後。所感至深。加以近年世界之潮流。波濤洶湧。益見其劇。各國咸苦不景氣之束手。於是竭力於近東遠東方面。思有所發展。冀得一尾間。以挽救目前之危局。故中亞細亞荒漠大地。漸為世人另眼相看。與三十年前之局面。迥然大異。獨吾國人。冥然罔覺。富者驕奢宴安。貧者水深火熱。雖有智者。大聲疾呼。終見效力有限。即關於其地書籍。亦渺如鳳毛麟角。不易多讀。殊用嘆息。因不自量力。輯成斯編。以與海內賢達相商榷。書成共分三編。一曰縱的新疆歷史觀。於史策中摘取有關新疆之事實。以昭示先烈之苦心經營。與夫西陲中原關係之重要。二曰橫的新疆地理觀。搜集其地山川物產。政情民風。以及耳濡目擊。思慮感觸。以備邦人留心研討。藉為開發西北一助。三曰一般攸關新疆的事物觀。列

舉中外人士對於新省之用心與言論。以闡明其環境之安危。使得驚心觸目。防患未萌。雖行文簡陋。未盡一二。然區區此意。當為大雅君子所贊同歟。

新疆概觀

目 錄

西疆風光圖

題字

上編 縱的新疆歷史觀.....	1
第一章 漢時之西域.....	3
第一節 通西域之由來與當時西域之形勢.....	3
第二節 通西域之人物與其經過.....	5
第三節 通西域後中國所受之影響.....	7
第四節 漢時之經營.....	13
烏孫和親.....	14
樓蘭之征伐.....	15
大宛之征伐.....	15
車師之征伐.....	16
莎車之征伐.....	17
康居之征伐.....	17
取伊吾.....	18
臨大海.....	18
第五節 班超與西域.....	18
第六節 西域諸國誌略.....	24
第二章 漢後歷代對於西域一般之情形.....	31
第三章 唐時之西域.....	33
第一節 武威.....	33

伐突厥	33
伐烏叢	43
伐高昌	34
伐龜茲	35
波斯來降	35
吐火羅來降	35
昭武九姓諸國來降	36
第二節 治理	36
第三節 回教之輸入	39
第四節 僧侶之壯游	40
第四章 宋時之西域	42
回鶻之消長	42
西遼之勃興	43
花刺子模國之強盛	43
第五章 元時之西域	43
第一節 武威	44
乃蠻滅亡	44
花刺子模國滅亡	44
第二節 治理	45
第三節 中西之接觸	45
第六章 明時之西域	46
衛拉特之西漸	47
土魯番之稱強	47
喀什噶爾汗國之附庸帖木兒	47
第七章 清時之西域與開省	47

第一節 變亂之迭興	48
準噶爾之役	48
大小和卓木之役	52
烏什之役	54
張格爾之役	56
和卓摩罕穆德玉普素之役	57
七和卓之役	58
准利罕和卓之役	58
妥明稱清真王與安答雅克布白克擅位之役	58
第二節 土爾扈特部來歸紀事	63
第三節 伊犁為俄佔領事略	65
第四節 左宗棠與開省	67
第五節 官制與治理	70
清初之官制	71
開省後之官制	72
治理之得失	72
第六節 新俄條約之回溯	73
伊犁塔爾巴哈台通商章程(全文)	73
中俄條約(節錄)	76
中俄續約(節錄)	76
勘分西北界記約(摘要)	77
伊犁改訂條約(全文)	79
中俄伊犁界約(全文)	84
喀什噶爾東北界約(全文)	87
塔爾巴哈台西南界約(全文)	88

喀什噶爾西北界約(全文).....	92
塔爾巴哈台界約(全文).....	98
科布多界約(全文).....	95
第八章 民國後之新疆.....	97
第一節 鼎革時之局面.....	97
第二節 政治之措施.....	101
第三節 重要軍事與政變.....	104
援科布多之役.....	104
白俄竄新之役.....	104
滇入企圖獨立之役.....	106
楊增新被刺之役.....	107
第四節 楊增新之策略與思想.....	109
中編 橫的新疆地理觀.....	113
第九章 疆土鳥瞰.....	115
第一節 地位疆域氣候和人口.....	115
第二節 本省之山水.....	121
第三節 本省各地之沿革及其實況.....	127
第四節 失地記.....	154
第五節 本省省道里程記.....	166
迪化—伊犁.....	166
迪化—塔城.....	167
迪化—阿爾泰.....	167
迪化—科布多.....	168
迪化—鎮西—哈密.....	168
阿克蘇—迪化—吐魯番—哈密.....	169

阿克蘇—伊犁	170
阿克蘇—錫羌	176
阿克蘇—烏什	171
阿克蘇—喀什噶爾	171
莎車—巴楚	171
莎車—喀什噶爾	171
莎車—蒲犁	171
莎車—且末	171
第六節 省外交通里程碑	173
哈密—蘭州	173
奇台—綏遠	174
哈密—包頭	175
且末—嘉煌	175
喀什噶爾—安集延	176
塔城—愛古茲	176
第十章 種族探蠡	179
第一節 種族不同與分散	179
第二節 漢族之過去與現在	180
第三節 滿族之過去與現在	183
第四節 哈薩克人之生活與風俗	184
第五節 蒙古人之生活與風俗	186
第六節 甘回人之生活與風俗	188
第七節 繁回人之生活與風俗	189
第十一章 交通事業	199
第一節 郵政	202

第二節 電報.....	206
第三節 長途汽車.....	209
第四節 無線電報.....	212
第十二章 矿產.....	223
第一節 蘊埋與分佈.....	223
第二節 歷來開採大略.....	229
第十三章 物產與實業.....	239
第一節 農業.....	239
第二節 土產.....	242
第三節 畜牧及動物.....	249
第四節 工藝.....	256
一般工藝之情形.....	256
幾件固有之工藝.....	257
第五節 新企業.....	259
第六節 商業.....	261
本國商人及其情況.....	263
外國商人及其情況.....	266
第十四章 經濟概況.....	269
第一節 清季協餉與繁榮.....	270
第二節 賦稅.....	271
第三節 幣制.....	271
第四節 金融機關之過去與現在.....	274
第五節 俄國經濟勢力之盛衰.....	275
第十五章 社會概況.....	277
第一節 一般之觀察.....	277

第二節 政教之措施.....	288
下編 一般攸關新疆的事物觀.....	291
第十六章 中國國民黨與新疆.....	293
第一節 孫總理建國大綱與開發新疆.....	293
第二節 白崇禧入新之商榷.....	302
胡展堂書.....	303
譚祖庵書.....	304
白崇禧覆書.....	305
第十七章 赤白帝國主義包圍下之危機.....	308
俄國西土鐵道記略與其前途.....	309
英國飛機測量隊之組織與其用意.....	310
第十八章 中西考古團體潮.....	313
斯坦因考古隊.....	313
西北科學考察團.....	315
中法學術考察團.....	321
中西私人探險隊.....	330
第十九章 最近國內輿論界對於新疆之論調.....	331
壯哉移民西北的先鋒隊(上海生活週刊).....	331
行矣第一機(天津大公報).....	332
俄法新約與中國關係(上海新聞報).....	334
西北航空成功後、天津民國日報).....	336
政府宜注意新疆之事變(上海新聞新).....	338
結論	1
附錄：	
1. 新疆歷代大事彙記	1

2.重要同地異名地方表	15
3.獎勵國人考察邊境辦法	16